

『アユチ雅楽会』 企画案

名称は、かつて名古屋市立大学のキャンパスの近くまでできていた入り江「年魚市潟(アユチガタ)」より。アユチは、吾湯市、愛智とも書き、愛知県の県名のもととなった。

【活動の趣旨】

雅楽は、千年以上にわたり受け継がれてきた日本の大切な文化遺産です。古くから日本に伝えられてきた歌や舞。そして、5世紀から9世紀にアジア大陸から中国・朝鮮半島経由で伝えられた舞や音楽。それらが、今に伝わる雅楽の原型になっています。

雅楽は敷居の高い音楽と思われがちですが、入門曲は約1年で、ある程度まで習得することができます。アユチ雅楽会では、月2回の練習会で、市民のみなさんに雅楽の入門曲を楽しく習得していただきます。また、地域のお祭りなどでの奏楽を通して地域づくりに関わっていただく機会も、ご希望に応じて提供させていただきます。

【活動の内容】

◎雅楽の入門曲「越殿楽」「五常楽急」の奏楽ができるようになります。龍笛(りゅうてき)・箏(ひちりき)・笙(しょう)から、一つの楽器を選んでいただきます。

※入門曲を習得され、更なるレベルアップを目指される方には、外部講師の紹介も可能です。

◎定期的に三管(龍笛・箏・笙)での合奏練習を行いますので、各種行事、地域のお祭りなどでの奏楽の実力がつきます。

◎すでに、入門曲「越殿楽」「五常楽急」の奏楽が、ある程度できる初級者の方の、スキルアップ、合奏練習のための参加もオーケーです。

◎ご希望の方は、名古屋市内・近郊にある提携神社での奏楽奉仕が可能です。

◎名古屋市内・近郊の神社の氏子様で、お祭りでの奏楽を実現したい方へのサポートも行います。

◎雅楽についての知識を深めることを目的に、会員以外の方もご参加いただけるオープン企画も開催します。

練習会:毎月2回(1回は講師によるレッスン、1回は会員による練習会)

年会費:2,000円(市民学びの会の規定による)

月会費:2,000円(講師料・会場費・物品購入費等に充当)

講師は、“楽(がく)を楽しく”をモットーに、神社の祭礼、地域づくりに関連するイベント、外国の方への日本文化紹介イベント、各種式典などで活躍されている「白樺雅楽会」の方々に担当していただきます。また、年に数回、特別講師による講習を予定しています(宮内庁楽部主席楽長の池邊五郎先生、他)。